

昨年度活動成果と今年度活動目標

2008年5月16日
問題作成(技術)部会
主査 羽生田栄一

1

部会目標と構成メンバー

部会の目標
認定試験問題を作成する

主査	羽生田 栄一	豆蔵
副主査	桐越 信一	日立製作所
副主査	山城 明宏	東芝ソリューション
		他10名(オブザーバー1名を含む)

2

2007年度活動報告

活動目標

2008年度からL3認定試験を開始できるように
試験問題の開発を行う

活動成果

1. 開始に必要なL3試験問題
を開発する
2. L3試験に対する関心を高
める

課題

1. L3試験の継続的運用には
問題数が不足している(さ
らに14問必要)
2. 組み込み系の問題数が少
ない

2007年度費用報告

費用投入に関する考え方

費目	予算	実績	差額
L3試験問題開 発	20,200千円	18,400千円	-1,800千円
L37°ト謝礼	430千円	440千円	10千円

2007年度活動トピックス

活動トピックス

- L3試験を開始できる問題セットを開発した
- L3認定への関心を高めるための活動を行った
 - 9/11: 「責務駆動設計の基本から上級原則まで」セミナー (Rebecca Wirfs-Brock, 藤井)
 - 9/13: モデリングフォーラムで「モデリングワークショップ」を開催(羽生田)
 - 9/14: モデリングフォーラムで「UMTP L3試験開発の最新状況」を報告(竹政)
 - 3/5: L3オープニングセミナーで講演(羽生田、照井、竹政、藤井)

2008年度活動予定

活動目標

L3認定試験を持続可能にするために、試験問題を追加する

活動目標

1. L3試験問題を14問追加する
2. モニター受験者で本番試験で正解率を分析し、ボーダーラインを調整する

実行上の課題

1. 試験問題の開発に5,200千円の予算が必要(問題の開発単価を削減する前提)
2. 昨年度の1/3規模で再びプロトタイプ試験へのご協力をお願いする必要あり

2008年度体制(問題作成部会)

主査	羽生田 栄一	豆蔵
副主査	豊嶋 淳史	NTTデータ
		他 6名

新規メンバー募集有無	有	無
新規メンバーへの期待		

2008年度活動費用見積もり

費用投入に関する考え方

費目	予算	昨年度実績	差額
試験問題の開発	5,200千円	18,400千円	-13,200千円
L3試験の改良、調整	1,050千円	0円	+1,050千円

2008年度活動マイルストーン

テーマ	1Q	2Q	3Q	4Q
部会	毎月一回開催			
成果報告		中間報告		成果報告
イベント		モデリング フォーラムの セッションで 発表		